





<<入院診療計画書・退院療養計画書>>



前立腺全摘出術を受ける患者さまへ 9日入院

0  
0

患者氏名 ○ 様		病名： 前立腺癌		症状：		担当医： ○		印 受け持ち看護師：	
項目	月日	1月0日	1月1日	1月2日 ~	1月4日 ~	1月8日			
項目		手術前日	手術前(当日)	手術後(当日)	1日目~	3日目~6日目頃	退院日(予定日)		
達成目標		手術の準備ができる		手術後の安静が守れる	血尿が軽減または消失する 痛みが軽減または消失する	自力で排尿ができる	退院後の注意点が理解できる		
治療・薬剤 (内服)		薬剤師が持参薬を確認します 確認後、許可が出たお薬は夜まで内服 して下さい 21時頃に下剤を2錠内服する時もあり ます	朝のお薬は、 ( ) を飲んでください 手術前に点滴をします 経口補水液を摂取する場合や朝一番 (9時)の手術の患者様は手術室で 行います 朝6時頃、洗腸を行うことがあります 排便の有無をお知らせください	点滴を行います 手術後指示まで酸素マスクをします 心電図モニターを付けます 足にマッサージする機械をつけます お腹に管が入ってきます 背中から痛み止めの管が入ってきます	痛み止めの点滴がなくなり次第、 点滴終了となります  抗血栓薬や中止といわれている ( ) 以外、普段飲んでいるお薬を再開 してください	おおよその目安ですが 術後3日目頃おなかの管が抜けます 術後5日目頃に膀胱造影検査を行 います 検査の結果によって、尿の管が抜 けます	退院後痛みが強い時、38.5℃以上の 高熱が出た時、血尿が薄くならない 時、尿が出なくなった時は、外來に電 話でご相談ください		
活動・安静度		制限はありません →		ベッド上安静です 	許可が出た後、歩行できます 初回の歩行は看護師が見守らせ て頂きますので一人では歩か ないで下さい 歩行ができれば、弾性ストッ キングを脱いでいただいてもか まいません	背中痛み止めとお腹の管が抜 けた 翌日からシャワーの許可が出 ます 	退院後は激しい運動、自転車やバイク などの乗車は避けてください 次回外來受診までは入浴は控えて、 シャワーのみとして下さい その他日常生活の制限はありません 骨盤底筋体操を続けて下さい		
食事		21時以降は食べられません お水・お茶・ポカリスエットは飲め ます 特別な栄養管理の必要性 有・無	食事はできません お水は( )時まで飲めます	食事はできません 酸素終了後、問題なければ飲水で きます	昼食からお粥の食事が出ます 問題無ければ、夕食から手術前 と同じ食事が出ます こまめに飲水を行ってください	特に制限はありません こまめに飲水を行ってください	特に制限はありません 飲水は控えずにこまめに摂って下さい アルコールは控え、次回の外來受診の 際に医師に確認して下さい		
排泄		制限はありません 理学療法士より尿漏れ対策についてのリハビリテーションの説明があります (骨盤底筋群運動)		尿の管が入ってきます →		尿の管が抜けた後、排尿状態を記 入する排尿日誌記録をしてくだ さい 尿漏れ状態や、尿漏れ量状態に より適切な尿取りパットの準備を 看護師より説明します	尿の勢いが弱くないか、残尿感が強 くないか確認してください 尿が出ないときには早急に病院を受 診するようにしてください  便秘に注意して下さい 		
患者様および ご家族への 説明		入院・手術・麻酔について説明します 経口補水液について説明します お臍の処置をさせていただきます シャワー浴をして洗髪をしてください 爪の長い方は切ってください 患者様確認のためにIDバンドを装着 します 尿漏れに対する骨盤底筋体操のパン フレットを説明して渡します 手術後に使用する浴衣、尿取りパ ットをご持参ください 病院でも借 用(有料)、購入できます	洗面・歯磨きはできます 指輪・時計・めがね・義歯・コン タクトレンズなどで外せるものは 外してください  静脈血栓症予防のために弾性スト ッキングをはきます  貴重品の管理は、ご家族で願 いします				退院は、午前10時頃です  IDバンドは退院時に看護師がはず します  退院後のご相談・お問い合わせは、 外來看護師が承ります		

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

2024.8.22 110005

上記内容について説明を受け、内容を理解し(同意します・同意しません)

年 月 日 患者氏名

(代理人の場合) 代理人名

(続柄)